



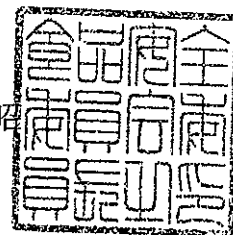
府食第917号

平成16年9月9日

厚生労働大臣
坂口 力 殿

食品安全委員会

委員長 寺田 雅昭



食品健康影響評価の結果について

平成16年8月12日付け厚生労働省発食安第0812001号をもって厚生労働大臣から食品安全委員会委員長に意見を求められた遺伝子組換え食品等のうち、下記のものについては、「遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方」（平成16年1月29日 食品安全委員会決定）に基づき、その安全性に問題はないと判断しましたので通知します。

なお、審議結果については、別添のとおりです。

記

- ・申請者：日本モンサント株式会社
- 品 目：鞘翅目（コウチュウ目）害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統と鱗翅目（チョウ目）害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種

(別添)

「鞘翅目（コウチュウ目）害虫抵抗性トウモロコシMON863系統と鱗翅目（チョウ目）害虫抵抗性トウモロコシMON810系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統を掛け合わせた品種」に係る食品健康影響評価に関する審議結果

申請品種名：「鞘翅目（コウチュウ目）害虫抵抗性トウモロコシMON863系統と鱗翅目（チョウ目）害虫抵抗性トウモロコシMON810系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統を掛け合わせた品種」に係る食品健康影響評価

性質：鞘翅目害虫抵抗性（コーンルートワーム等）、鱗翅目害虫抵抗性（アワノメイガ等）、除草剤グリホサート耐性

申請者：日本モンサント株式会社

開発者：モンサント社（米国）

1. 申請品種の概要：

申請品種については、害虫抵抗性の形質が付与された2系統及び除草剤耐性の形質が付与された1系統について、まず2系統同士を従来からの手法で掛け合わせたものに、さらに1系統を従来からの手法で掛け合わせたものである。掛け合わせる前のMON863、MON810、ラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603の各系統については、それぞれ安全性の審査の手続きは終了しており、いずれもヒトの健康を損なうおそれがあると認められないと判断されている。

なお、当該品種の育成には3通りの方法があるが、いずれの場合も作出されるのは3つの形質をそれぞれヘテロで持つ一代雑種品種である。

2. 食品健康影響評価結果：

① 挿入された遺伝子によって宿主の代謝系に影響なく、害虫抵抗性、除草剤耐性の形質が付与されている品種同士の掛け合わせである。

MON863系統に導入された *cry3Bb1* 遺伝子により産生される Cry3Bb1 タンパク質及びMON810系統に導入された *cry1Ab* 遺伝子により産生される Cry1Ab タンパク質はいずれも酵素活性を持つことは報告されておらず、植物代謝経路に影響を及ぼすことはない判断される。

また、ラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統に導入された *cp4 epsps* 遺伝子により産生される CP4 EPSPS タンパク質は、シキミ酸合成経路（芳香族アミノ酸合成経路）の律速酵素ではなく、EPSPS（5-エノールピルビルシキミ酸-3-リン酸合成酵素）活性が増大しても、本経路の最終産物である芳香族アミノ酸の濃度が高まることはないことから、その作用機作は独立しており、植物代謝経路に影響を及ぼすことはない判断される。

② 亜種レベル以上の交配ではない。

掛け合わせた品種は、いずれもデントコーンと呼ばれる分類上同一種（イネ科トウモロコシ属トウモロコシ *Zea mays* L.）である。

③ 摂取量・食用部位・加工法に変更はない。

MON863とMON810とラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603の各系統と、それらを掛け合わせた品種において、摂取量、食用部位、加工法等の利用目的ならびに利用方法に変更はない。

以上、①～③の結果から、鞘翅目（コウチュウ目）害虫抵抗性トウモロコシMON863系統と鱗翅目（チョウ目）害虫抵抗性トウモロコシMON810系統とラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統を掛け合わせた品種については、「遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方」（平成16年1月29日 食品安全委員会決定）に基づき、安全性の確認を必要とするものではなく、その安全性に問題はないと判断される。